

ハンドボール

スローオフチーム **新都**



(財) 日本ハンドボール協会公式記録用紙

No. 58

No. (16名用)

A	広島県	東京都	B
---	-----	-----	---

30	14	18
確認サイン	7m TC	確認サイン
A 吉野 亮洋		B 池田 鉄哉

大会名	第17回国民体育大会 主山清流団体		
平成24年	10月6日(土)	場所	下呂交流会館
種別	成年	男・ <input checked="" type="checkbox"/>	回戦 第2回戦 準決 決 リーグ

A	広島県	警告	退場	失点	チームタイムアウト				
					前半	後半	合計		
役員A	吉野 亮洋						11	21	
役員B	奥 成玉								
役員C	佐野 綾子								
役員D									
1	堂原 紗子								
2	増田 寛那				T	F	5		
3	南橋 佑奈				-	T	3		
4	河田 早紀	/							
5	大前 典子				F	T	5		
6	塩田 真奈美								
7	新城 明奈				F	F	7		
8	塩田 綾香	/							
9	早川 志歩				-	T	3		
10	高山 智恵	/			F	T	7		
11	安齋 千尋								
12	田口 舞								
合計					3		16	14	30

B	東京都	警告	退場	失点	チームタイムアウト				
					前半	後半	合計		
役員A	池田 鉄哉						22	39	
役員B	南野 丞								
役員C	八尾 泰鬼								
役員D									
1	伊地知 里穂								
2	泉谷 悠				T	-	3		
3	陣野 瞳				-		1		
4	松尾 祐依				F	T	8		
5	一木 中莉	/			T	T	4		
6	榎本 美希				T		2		
7	門谷 舞	/							
8	倉 解穂	/							
9	角尾 里帆	/							
10	石井 優希								
11	川畑 博美								
12	白石 士仁								
合計					13		14	4	18

タイムキーパー 島田 龍成 スコアラー 吉田 慎太郎
 マッチメイカー サイン 加藤 隆哉 審判員 サイン 土松 裕太 審判員 サイン 梅木 信男

前半				後半			
A	結果	得点	時間	B	結果	得点	時間
		0	25	1	6	2	17
10	1	0	37	7	18	2	36
		1	02	2	4	10	W
2	0	2	1	42		5	19
		2	53	W	5	(D)	11
		3	43	3	2		11
7	3	4	22			10	20
10	4	5	17	S	7	3	21
8	W	5	10			9	22
		6	50	4	5		18
5	5	7	00			2	23
		7	37	5	5	7	24
9	6	10	00				20
		10	28	6	6		20
		12	23	7	4	10	25
2	7	12	52			7	26
5	8	13	33			3	27
		14	55	8	4		27
2	X	15	22	S	9	2	28
10	9	17	14			9	29
		19	18	9	4	6	30
5	10	19	53				
4	W	20	22				
10	11	21	54				
10	12	22	28				
		22	39	(D)			
		23	22	10	2		
		24	24	11	4		
7	X	25	14				
7	13	25	32				
7	14	27	03				
		27	50	12	4		
3	15	28	23				
		28	02	B	3		
7	0	16	29	28			
		29	57	14	4		
16				4			

特記事項

ハンドボール

ぎふ清流国体ハンドボール競技

結果報告

No.59

大会名	第67回 国民体育大会 ハンドボール競技				
競技日	10月6日(土)	試合記号	Eh	回戦	2回戦
種別	成年女子	会場	下呂市交流会館		
A(都道府県名)			B(都道府県名)		
広島県			東京都		
得点合計	小計		小計	得点合計	
30	16	前半	14	18	
	14	後半	4		
		第1延長(前半)			
		第1延長(後半)			
		第2延長(前半)			
		第2延長(後半)			
		7mTC			

【戦評】

記載者氏名

鈴木 隆

2回戦、若い選手の東京都チーム、若い選手とベテラン選手を混えバランスのとれた広島県チーム、東京都のスローオフでゲームが開始。

東京都は4番松尾、5番一木、6番笠木の身長を生かしセットからのロングシュート、ミドルシュート。広島県は失点後のクイックスタート、速攻セットでの速いボール回しからのポスト落とし、ずらしからのサイドシュートで対応。東京都キーパー12番白石の好セーブもあり、一進一退を繰り返し、19分まで9対9の同点。ゲームが動き始めたのは、広島県の速いボール回しから5番大前のセンターからのミドルシュート、相手チームのミス、パスカットから10番高山の連続速攻で3点差とした。東京都は4番松尾が、左右の45からロングシュート、右サイドシュートと孤軍奮闘し、広島のリードを3点以内に抑え、前半を16対14の2点差で終えた。

後半10分まで東京都1点広島県3点と互いに得点できず、小康状態が続く。広島県はたまたまタイムアウトを取った。東京都の攻撃を広島県のディフェンスが完璧に近い程抑え込み、攻撃では速いボール回しから5番大前のポストシュート、7番新城のサイドシュート、3番高橋の速攻、2番増田のロングシュートと多彩な攻撃で徐々に点差を広げていった。実力の差が後半を制し、30対18で広島が勝利を得た。